

共同印刷株式會社勞働爭議之案ハル件 (第四報)

既報首顯爭議職工側代表出版勞働組合長高田幸枝幹部  
徳永直 石倉根水外七名ハ昨十八日午後二時精養堂ニ  
場中務所ニ於テ大橋社長外各部長ト會見博文館ニ場時  
云辯達銀三ノニ科職三ニ一各ニ辭スル作業短縮向願  
ニ作ギ之レカ撤田ヲ要求シタルカ會社ハ高田幸前ハ時  
不調願ニ謝シ別記ノ如ク印刷物ヲ配件ニ罷ギ之ヲ右代  
表者ニ示シ要求ヲ拒絕シ且ツ「明十九日(本月)ヨリ作業短  
縮ヲ実施スル」旨社長ヨリ申渡シ結局交渉不調ニ終リ代  
表者等ハ三場ニ引キ揚ゲ職工一同ヲ博文館ニ場内西  
集込ニシテ其ノ願示ヲ報告シ午後五時半一同退場セ  
ル可レテ存月午前八時一同出勤セルモ就業ニハ全無  
(約千名名)ハ急業状態トナリ三場内ニ身ヲ集込辭業拒絶  
石及申(通)報候(刊)

不別記

三科(鑄造科貯蓄科機械科)作業短縮案ニ付テハ本月十一日ヨリ直ニ実行ノ事ニ  
相成居タルニ工務次代表ヨリ右短縮案ニ代ハルヘキ提案アルヲ以テ職率増  
進研究委次會ヲ開會審議サレタキ希望アリ三科責任者亦之レ同意ニ會社ニ  
向ツテ其開會ヲ提議シ未リタルヲ以テ會社之ヲ許可シ十日夜職率小委負會ヲ  
開會ニ特別委員ニ附託シテ研究スルコトト決シタリ  
其間研究中ナルニ不拘鑄造科及機械科ニ於テハ急業ヲ為シ且出版勞働組合  
并(支部)八十二日正午ヨリ(時間)ニ且リ後業員會ヲ開キ村本會長ハ「各會者トナリ  
談問題ノ研究決定以前ニ於テ工務員代表ノ提案採用ヲ會社ニ要求スルノ決  
議文ヲ提出セリ加之急産青年同盟工場班ハ不獲ナル決議文ヲ會社ニ提出シ且示  
威運動ニ等シキ行動ヲ為シ得意先ヲミテ不安ノ念ヲ抱カシメ社則ヲ紊亂セン  
トスルニ至レリ  
然ルニ會社ニ於テハ尚且ツ隱忍研究ノ結果ヲ待テ十六日假率委負會ノ提出セル  
原案ニヨリ各科責任者會ヲ開キ意見ヲ聽取シタルニ該案ヲ全部採用セバ  
不熟練工ヲ強イテ職科セシメ假率ノ減退ヲ素ニ結局各科ノ損失ヲ増加シ且  
會社ノ方針タル假率増進經費節減ノ目的ト一致セサルヲ以テ考究ノ上左  
ノ如ク決定シ一部採用ノコトトセリ  
會社ノ現状實ニ不得止場合ニ付キ諸員之レヲ諒トセラレヨ

貯蓄科ヨリ 假率表科ハ二名職科  
自働科ハ一名